

# 各事業所で実施している活動プログラムの目的・具体的内容

児童デイサービス きゃん (放課後等デイサービス)

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性

項 目	活動プログラムのねらい	具体的な支援内容	5領域の分類
1 帰りの会	<p>(参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>片付け・帰宅の準備と共通の目的に向けて協力する。静かにする、注目するなど集団行動における協調性を養う。</li> <li>(他児童の名前を呼ぶ)</li> <li>関係の薄い児童との関わり。</li> <li>発表などを行い認めてもらう事で達成感充実感を得る。</li> <li>他児童の名前を知る。</li> <li>(呼ばれたら返事をする)</li> <li>適度な音量</li> <li>相手に目を向ける。などコミュニケーション力向上</li> <li>話を聞く態度を養う。</li> <li>楽しかったことのふりかえりや、明日の予定や先々の予定を伝え、次の楽しみとなり、来所渋りなどへの対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>片付けや、帰りの準備を児童の状況を見極めながら支援する。</li> <li>切り替えしやすいよう、片づけを始める5分前に声かけ(アラーム)</li> <li>注意がそれやすい児童の近くに職員と一緒に座り、適宜声かけ、注目を促す。</li> <li>発表が苦手な児童や名前が覚えきれていない児童が当番の時は職員が付き添い、代弁、お名前を教える等、支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②運動・感覚</li> <li>③認知・行動</li> <li>⑤人間関係・社会性</li> </ul>
2 おやつのお買い物(事業所内) きゃんではおやつを毎日、自分で選んで購入するシステムで提供しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物のルールやマナーを学ぶ。</li> <li>自己選択・自己決定を促し、意思の形成・表出につなげる。</li> <li>決められた予算内で好きなおやつを買ってもらい、計算や、貯金などお金の価値、感覚を養う。</li> <li>お金に見立てたコインで購入することで、スマホやカード決済に慣れた児童にお金の感覚をもってもらう。</li> <li>みんなそれぞれ違うものを楽しくおいしく食べる事で、児童間で影響し合い、嫌いな食べ物や、まだ知らない食べ物への興味関心がわく。</li> <li>口腔内過敏があり、食べられない物が多い児童も楽しくおやつに参加できる。</li> <li>カップ麺やおにぎり、ピザなど空腹を補い、情緒面に配慮できる。</li> <li>お店に並ぶお菓子をリクエストでき、楽しみや目標を持つ。</li> <li>食べたおやつを保護者に共有することで、家庭での食事やおやつへの参考にしてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金の計算がしやすいよう、10円単位で提供する。</li> <li>貯金をするboxを用意し、自分で貯金額を確認できるようにする。</li> <li>お金の計算が苦手な児童は、職員と一緒に計算し、お買い物を行う。</li> <li>自己選択が苦手で買うものに迷う児童は、適宜声かけし購入を促す。その際に「自分で選んだ事」などを認め声かけする。</li> <li>不正が無いよう、週一回貯金額や購入金額を計算し管理する。</li> <li>毎回購入したものは記録を取り、毎日保護者と共有。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康・生活</li> <li>③認知・行動</li> <li>④言語・コミュニケーション</li> <li>⑤人間関係・社会性</li> </ul>
3 SST 問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>SSTの実施、ソーシャルスキルの獲得。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おやつのお金をもらう際に、簡単なSST問題を出題正解後、おやつのお金を渡し、おやつのお買物を始める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③認知・行動</li> <li>④言語・コミュニケーション</li> <li>⑤人間関係・社会性</li> </ul>
4 個別プログラム「きくきくドル」の実施 聞いた言葉を繰り返そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>お話を聞く集中力</li> <li>語彙力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3～5語文の文章を本人に話し、その言葉を聞いた児童にそのまま同じ言葉を話してもらう。</li> <li>初めはドリルから文章を抜粋して問題にしていたが、現在は本人の日常や先々の予定を問題にしている。(ドリル例)「青い鳥が、三羽、とまっています」(現在例)「今日は、〇〇公園に行って、自転車遊びます」(現在例)「今日は、〇〇公園で、〇〇をして遊びました」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③認知・行動</li> <li>④言語・コミュニケーション</li> <li>⑤人間関係・社会性</li> </ul>
5 (個別) 姿勢を正して宿題に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢の保持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題に取り組む際に、姿勢を見守る。崩れたら声かけ、促しによって再度姿勢を正してもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①運動・感覚</li> <li>③認知・行動</li> </ul>
6 自分たちでルールを決めて宿題に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの活性化</li> <li>ルールを守る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題の実施時間やタイミングを児童たちで話し合ってもらい、実施する。 例：おやつ前にやる。おやつ食べてからやるなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③認知・行動</li> <li>④言語・コミュニケーション</li> <li>⑤人間関係・社会性</li> </ul>
7 意識付けと振り返りを行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な課題に対し、事前に注意を促し、帰りに振り返りを行う事で、本人の意識を高める。 例)「怒っても、暴力はしない」 例)「チクチクことばをいわない」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所時に「今日も楽しく、暴力は絶対しないように過ごそうね。」と声かけや会話で意識付けを行う。</li> <li>活動時は見守り実施(適宜指導助言)</li> <li>帰りに「今日のはうまく出来たね。さすがだね」等振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③認知・行動</li> <li>④言語・コミュニケーション</li> <li>⑤人間関係・社会性</li> </ul>
8 (個別) 一日一語、丁寧に発音しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧な発音の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションにおいて支援のニーズがある児童へ、本人が日常会話で使っている言葉から、一つピックアップし、個別でゆっくり丁寧に話すよう促し、練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④言語・コミュニケーション</li> </ul>
9 (個別) 協力依頼	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションにおいて支援のニーズがある児童(人をお願いしたり、SOSが言えない等)へ、類似体験を通じて、協力してもらう経験を積む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人に誰かに協力してもらって、物事を達成してもらうお題を出題。その際に、実際をお願いする言葉を一緒に伝える。 例)「〇〇さんに、(手押し車するから足持って)とお願いして、手押し車でこっちまで戻ってきてください。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④言語・コミュニケーション</li> </ul>
10 (中学生) 自分の地域で遊びをフロテュース	<ul style="list-style-type: none"> <li>住んでいる地域を知る。</li> <li>話し合う事で協調性やコミュニケーションの向上</li> <li>LINEや電話、インターネットなどの活用。</li> <li>実施し楽しかったと達成感、自己肯定感の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生の児童を対象に、それぞれの地域で日を分けて活動を行う。</li> <li>その際の過ごし方や、過ごす場所、昼食やおやつをどうするか?</li> <li>みんなで話し合い実施する。その地域に住んでいる人をリーダーにして話し合いや、実施を進める。</li> <li>話し合いと一緒に参加し、適宜サポート、連絡などの助言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③認知・行動</li> <li>④言語・コミュニケーション</li> <li>⑤人間関係・社会性</li> </ul>